

令和5年度第1回吉田町部活動の在り方協議会

1 日 時 令和5年6月2日（金） 15時00分～16時30分

2 場 所 吉田町役場2階町民ホール

3 進 行 学校教育課

4 次 第

(1) 教育長あいさつ

(2) 会長及び副会長選任(会長：山田泰巳/副会長：塚本成男)

(3) 議 事

- ・学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行について
- ・教職員・保護者等へのアンケート結果について
- ・意見交換

5 意見交換の内容

(1) 吉田中学校から現在の部活動の状況を説明

- ・部活動数 20（他校より比較的多い）
- ・自主加入制 加入生徒数約 600 名(全校生徒数 5/1 現在 783 名)
- ・昨年度の国の地域移行提言を受け、地域のスポーツ団体に加入する生徒が増えている。
- ・令和5年度1年生加入人数について、野球部1名、サッカー部4名、女子バスケット部1名であり、今後新入部員が入部しなければ、チームが形成できない状況である。
- ・水泳部・弓道部は令和5年度新入部員募集なしとした。
- ・弓道部について、地域に活動の場があり指導者もいるので移行する体制ができています。
- ・顧問は2名体制としている。
- ・地域クラブが中体連の大会に参加できる仕組みができています。
- ・部活動指導員を任用している。(5/1 現在 3名)
- ・部活動終了後に、地域クラブの指導者により 18 時頃まで活動を継続しているクラブがあり、保険は地域クラブで加入している保険を利用している。
- ・来年度以降、部活動に様々な不具合が発生することが考えられる。

(2) 委員から挙げられた意見

- ・地域クラブの指導者が高齢化しているため、活動を継続していくためには指導者の確保が必要である。
- ・資金面で継続が難しい地域クラブが存在する。
- ・指導者の賃金の明確化が必要である。
- ・指導者によって、勝利にこだわる方とそうでない方など意識に格差がないようにする必要はある。
- ・部活動の成績が高校受験に有利になる場合があると保護者は考えていると思うので、地域移行後の高校受験への影響を保護者が理解できる仕組みが必要である。
- ・地域移行への周知を保護者に早くしてほしい。
- ・町がどのような人間を育てたいか？ということを考えていく必要がある。
- ・保護者に受益者負担となる意識を持たせるが必要である。
- ・1 種目を継続するのではなく、複数の種目に触れるという目線が必要である。
- ・様々なスポーツを受け入れることが可能な総合型スポーツクラブのような組織づくりが必要である。